

## 2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月28日

上場会社名 シンポ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5903 URL <https://shinpo.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 紀彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田口 茂樹 TEL 052-776-2231  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

### 1. 2026年6月期第3四半期の連結業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績（累計） （%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	5,166	△8.0	556	△29.1	563	△29.1	381	△20.6
2025年6月期第3四半期	5,617	1.9	785	△5.5	794	△5.0	480	△11.1

（注）包括利益 2026年6月期第3四半期 442百万円（△4.2%） 2025年6月期第3四半期 461百万円（△26.6%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	69.32	—
2025年6月期第3四半期	86.12	—

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	8,842	7,133	80.7
2025年6月期	8,699	6,921	79.6

（参考）自己資本 2026年6月期第3四半期 7,133百万円 2025年6月期 6,921百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2026年6月期	—	0.00	—		
2026年6月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日（2026年4月28日）公表の「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」及び「2026年6月期配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,734	△8.6	650	△33.4	659	△33.3	450	△23.1	81.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日（2026年4月28日）公表の「2026年6月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年6月期3Q	6,140,850株	2025年6月期	6,140,850株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	640,198株	2025年6月期	640,198株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年6月期3Q	5,500,652株	2025年6月期3Q	5,578,288株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(重要な後発事象の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられることや、インバウンド需要の拡大などにより緩やかな回復基調にあるものの、イラン情勢の緊迫化に伴う原油価格や物流費高騰への懸念、長期化するロシア・ウクライナ情勢や中国経済の持ち直しの遅れなど景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループの国内における主要マーケットである焼肉業界におきましては、旺盛なインバウンド需要による追い風はあるものの、円安や物価高による輸入牛肉や野菜などの仕入価格の高騰、人手不足による人件費の上昇などが既存店の経営を圧迫するとともに、新規出店も伸び悩んでいる状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、国内におきましては主力製品である下引き無煙ロースターの販売に加え、『ワンストップサービス』として既存店を中心にダクト清掃やアミレタルサービスなどのアフターサービスにつきましても積極的に営業展開を行ってまいりました。特にこれまでサービス展開エリアが西日本中心だったアミレタルサービスは、2025年5月に名古屋アミ洗浄工場が稼働しサービス展開能力が大幅に向上したことにより、東日本エリアにおいても積極的な営業展開を行ってまいりました。その結果、アミレタルサービスの新規受注が堅調に推移したことからアミ洗浄売上高は前年同期比で増収となりました。一方で、焼肉店をはじめとする飲食業界の厳しい経営環境を受け、新規出店や改装需要が伸び悩んでいることから製品売上や店舗環境売上などは伸び悩み、前年同期比で減収となりました。

海外マーケットに対しましては、重点対応地域と位置付けるアセアン地域において、現地に進出を果たした国内大手飲食チェーンの継続出店による受注増に加え、台湾・インドネシア(ジャカルタ地区)においてローカルチェーンとの包括契約により大型案件の受注を獲得しました。また、北米市場におきましても製品認証の仕様変更による出荷調整で販売数量が落ち込んでいましたが、このたび仕様変更が完了したことから需要が安定し、販売数量が大きく増加しました。これらの要因により、第2四半期まで前年同期を大きく下回っていた海外売上高は前年同期比並みに回復いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高5,166百万円(前年同期比8.0%減)、営業利益556百万円(前年同期比29.1%減)、経常利益563百万円(前年同期比29.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は381百万円(前年同期比20.6%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ143百万円増加し8,842百万円となりました。主な要因は、名古屋消防装置製造工場建設に伴う工事代金の支払等による現金及び預金の減少250百万円などがあったものの、土地の増加139百万円、名古屋消防装置製造工場建設に伴う名古屋アミ洗浄工場の建設に伴う建物及び構築物(純額)の増加298百万円などがあったことなどによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ67百万円減少し1,709百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加63百万円、賞与引当金の増加60百万円などがあったものの、未払法人税等の減少126百万円、長期借入金の減少53百万円などがあったことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ211百万円増加し7,133百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当231百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上381百万円、その他有価証券評価差額金の増加50百万円などによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2025年8月1日に開示いたしました2026年6月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2026年4月28日)に開示いたしました「2026年6月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,277,044	2,026,519
受取手形及び売掛金	707,575	790,775
電子記録債権	84,884	44,504
商品及び製品	55,521	62,885
仕掛品	65,195	65,061
原材料及び貯蔵品	380,711	398,698
その他	93,162	10,266
貸倒引当金	△174	△163
流動資産合計	3,663,921	3,398,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,628,357	1,926,766
土地	1,637,503	1,776,726
その他(純額)	1,196,060	1,090,986
有形固定資産合計	4,461,920	4,794,479
無形固定資産	20,794	23,109
投資その他の資産		
投資有価証券	446,353	521,105
その他	111,600	111,062
貸倒引当金	△5,383	△5,383
投資その他の資産合計	552,570	626,783
固定資産合計	5,035,285	5,444,372
資産合計	8,699,206	8,842,919

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	83,771	147,273
短期借入金	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	71,424	71,424
未払法人税等	161,167	34,373
製品保証引当金	54,478	60,945
賞与引当金	—	60,057
役員賞与引当金	13,028	13,500
その他	625,993	579,981
流動負債合計	1,029,863	987,555
固定負債		
長期借入金	410,720	357,152
役員退職慰労引当金	62,092	63,294
退職給付に係る負債	179,030	189,115
その他	95,929	112,591
固定負債合計	747,772	722,153
負債合計	1,777,636	1,709,708
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	639,307	639,307
資本剰余金	600,587	600,587
利益剰余金	5,773,062	5,923,329
自己株式	△409,005	△409,005
株主資本合計	6,603,951	6,754,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	269,266	319,993
為替換算調整勘定	48,353	58,998
その他の包括利益累計額合計	317,619	378,992
純資産合計	6,921,570	7,133,211
負債純資産合計	8,699,206	8,842,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	5,617,974	5,166,372
売上原価	3,612,629	3,344,039
売上総利益	2,005,344	1,822,332
販売費及び一般管理費	1,220,130	1,265,705
営業利益	785,214	556,627
営業外収益		
受取利息	229	657
受取配当金	4,712	5,293
受取賃貸料	4,283	4,107
その他	3,342	3,654
営業外収益合計	12,567	13,714
営業外費用		
支払利息	649	3,778
不動産賃貸費用	2,411	2,873
為替差損	204	525
その他	399	—
営業外費用合計	3,665	7,177
経常利益	794,116	563,164
特別利益		
固定資産売却益	50	—
受取保険金	—	7,022
特別利益合計	50	7,022
特別損失		
固定資産除却損	4,036	—
解体撤去費用	19,900	—
リコール関連損失	28,976	—
役員退職慰労金	—	3,632
特別損失合計	52,912	3,632
税金等調整前四半期純利益	741,253	566,555
法人税等	260,870	185,260
四半期純利益	480,382	381,295
親会社株主に帰属する四半期純利益	480,382	381,295

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	480,382	381,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,818	50,727
為替換算調整勘定	5,433	10,645
その他の包括利益合計	△18,385	61,372
四半期包括利益	461,997	442,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	461,997	442,667
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2024年7月1日至2025年3月31日)

当社グループは、無煙ロースターの製造販売及びその附帯工事を内容とした事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2025年7月1日至2026年3月31日)

当社グループは、無煙ロースターの製造販売及びその附帯工事を内容とした事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2026年3月31日)
減価償却費	86,786千円	138,088千円

(重要な後発事象の注記)

## マネジメント・バイアウト(MBO)の実施

当社は、2026年4月28日開催の取締役会において、以下のとおり、いわゆるマネジメント・バイアウト(MBO)(注)の一環として行われるヤマタケ総業株式会社(以下「公開買付者」といいます。)による当社が発行する普通株式(以下「当社株式」といいます。)に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)に賛同する意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して、本公開買付けに応募することを推奨する旨を決議いたしました。

なお、上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続により当社株式を非公開化することを企図していること、並びに当社株式が上場廃止になる予定であることを前提として行われたものです。

詳細につきましては、2026年4月28日公表の「MBOの実施に関する賛同の意見表明及び応募の推奨に関するお知らせ」をご参照ください。

(注)「マネジメント・バイアウト(MBO)」とは、一般に、買収対象会社の経営陣が、買収資金の全部又は一部を出資して、買収対象会社の事業の継続を前提として買収対象会社の株式を取得する取引をいいます。